

介護技術

講 師	木 山 恭 治	実施時期 単 位 数	第 3 学年前期 2 単位 （30 時間）	実務経験	○
一般目標 (GIO)	介護を必要とする一人ひとりの意向や生き方などの個別性を理解することが大切であり、尊厳を守り自立に向けた介護を学ぶ。自立した日常生活を送るうえで必要とされる移動・食事などに関する基礎知識と生活援助技術について学ぶ。				
授 業 概 要	高齢者や障害者及び訪問治療を行う在宅患者に対応するときの身体的・精神的特徴の理解と介助技術を習得する				
学 習 方 法	講義・実習				
成績評価の方法	定期試験100%				
教 科 書	2024年版みんなが欲しかった！介護福祉士の教科書 TAC株式会社 出版事業部				
履修上の注意	遅刻・欠席をしないこと。無断欠席者の成績評価はしない。				
参 考 書	なるほど介護保険～わかりやすい利用の手引き～長崎市				
教員の職務経験 (科目との関連性)	福祉施設で勤務している経験をもとに高齢者や障害者の身体的・精神的特徴などの基本的知識や介護技術を実習する。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SB0s)
1	介護概論	尊厳の保持、自立と自律の支援、ノーマライゼーションの理念、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解する。
2	介護概論	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本を理解する。
3	介護の基本1	生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解する。居住環境の整備、介護技術の基本(整容・口腔ケア・衣服の着脱)を習得する。
4	介護の基本2	介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を習得する。
5	介護保険制度と歯科の役割1	介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、専門職の役割等を理解する。
6	介護保険制度と歯科の役割2	個別ケア、ICF、リハビリテーション等の考え方を踏まえ尊厳の保持、自立に向けた介護の展開と介護従事者の職業倫理を理解する。
7	コミュニケーション	介護場面での利用者・家族とのコミュニケーション、また介護におけるチームでの情報の共有化の意義を理解する。
8	基本介護技術(体位・姿勢交換・歩行)1	ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解する。
9	基本介護技術(体位・姿勢交換・歩行)2	人体の構造と機能を理解する。
10	基本介護技術(食事)1	利用者の心身の状況に応じた支援方法を習得する。
11	基本介護技術(食事)2	からだをつくる栄養素と水分量と食べるしくみについて理解する。
12 13	基本介護技術(車椅子の移乗・移動)	車椅子の各部位の名称と点検方法、および介助時の留意点を習得する。
14	基本介護技術(緊急時対応法)	発達の定義、発達段階・発達課題、老年期の心理的に課題とその支援の留意点について理解する。
15	基本介護技術(緊急時対応法)	緊急時の対応(救急蘇生方法)を習得する。